

# 定時総会を開催

約70人が出席、懇親会も

## 住宅基礎鉄筋工業会



あいさつする山口理事長

日本住宅基礎鉄筋工業会（理事長＝山口龍二・タツミ社長）は11日、2007年度定時総会を東京・千代田区のホテルグランウドパレスで開き、全国の鉄筋加工業者など約70人が出席した。同工業会は住宅基礎用溶接鉄筋の品質向上を図るため、昨年4月に正社員26社、賛助社員13社、学術社員7人で発足した。

冒頭のあいさつで山口理事長は「当工業会は安心して安全な基礎性

能の提供と業界のレベルアップを図るため、全国の基礎鉄筋メーカー26社（現在27社）が集いスタートした。昨年は講習会を3回開いたほか、定期的に理事会を開催した。今年は設立2年目に入るが、これまで以上に充実した活動を行っていく」と語った。

その後、06年度事業実績報告および07年度事業計画が了承された後、懇親会が盛大に行われた。